

モーツァルト・サロン会報 NO.80

第80回 モーツァルト・サロン コンサートシリーズ
「根津理恵子ピアノリサイタル」特集
2023年3月12日号



ショパン：スケルツォ

ご挨拶

桜の便りが届き始めた3月12日(日)14:00から「根津理恵子ピアノリサイタル」が開かれました。

前半はD.スカルラッチェのソナタから10曲演奏されました。幕開けは「K.491」。素敵な笑顔で弾いた後はご挨拶とお話がありました。

『皆様こんにちは。今日はスカルラッチェとショパンのプログラムをお聴き頂きます。ドメニコ・スカルラッチェはイタリアの音楽一家に生まれ、後半生はイベリア半島のスペインとポルトガルで過ごしましたが、ピアノ・ソナタは主に後半生で書かれています。スペインの民俗色というか他の作曲家にはないような面白い表現が聴かれるソナタです。500曲以上ありまして、その中からどうやって10曲にしようか悩みました。聴けば聴く程、練習すればする程、様々な鍵盤楽器の技法というのが散りばめられています。突然の転調など、突然の表現が多いので、めくるめくスカルラッチェの世界をお楽しみ頂きます。何故スカルラッチェとショパンを並べたかと言いますと、ショパンはスカルラッチェをととても愛していて、「可能であればスカルラッチェだけの演奏会を開きたい」と言っていたそうなので…。そういうわけで今日はスカルラッチェとショパンで前半後半を分けました。2曲目はまた同じ二長調の曲ですが、これもまた連打の沢山出てくる楽しい曲です。それからガヴォット、アリアそしてハ長調、まずは5曲目までお聴きいただきます』。非常に楽しそうに弾いた後で後半の5曲の説明がありました。『スカルラッチェのソナタというのはいくつかの曲をまとめて演奏するという前提で書かれているものが、後半の方で多くなっています。今から演奏する474と475は続けて演奏されるように書かれています。全く対照的な作風となっています。次は二短調ですが、牧歌的で、田舎の風景のような感じです。9曲目は「猫のフーガ」と言われています。これはテーマが、まるで猫が鍵盤を適当に踏んで歩いたようなのです。スカルラッチェは愛猫家ではありませんでしたが、自身が付けた名前ではないのです。チェルニーなどが、そう呼んで好んで演奏していたようです。最後は華やかなハ長調です』。そして前半が終わりました。

後半の一曲目は「ドイツ民謡 “スイス少年による変奏曲 遺作”」で始まりました。

『後半はオールショパンで聴いて頂きます。今の作品はメジャーではないのですが、初期の作品なのでロマン派とはいえ、少し古典的な部分があり、スカルラッチェに通じるものがありますので、繋ぎとして…。2曲目は「ノクターン 遺作」です。ショパンの楽譜は一般的に弾かれるものと彼自身が最初に書いた自筆譜ではかなり違いがある場合が多いのですが、今日のノクターンは自筆譜の方を弾きます。この曲が生まれた由来は、同じ時期に書かれたピアノコンチェルトの練習のために書かれたようです。次はワルツです。作品64の1曲目は「小犬のワルツ」ですが、2曲目、3曲目もあるということをお聴き頂きたいと思います。そして新エチュードは有名な「革命」などのエチュード集とは違い、エチュードの大家達のエチュードを集めた曲集の為に寄せられたものなので、作品番号はありません(モシュレスとフェティスが編集した「諸メロードのメロード」)。これらの曲は色々な演奏を聴きましたが、根津さんのこの日の演奏は「理恵子節」と言いたくなる歌いまわしで、終始「おっ、ここはこう来るんだ」とか、楽しい驚きの連続でした。「3つの新エチュード」は耳新しい曲でしたが、ショパンの世界観溢れる新鮮で美しい曲ものでした。

『最後は「スケルツォ第1番」です。この作品はショパンが非常に苦しい時の19~20歳くらいに書かれたものです。生まれ故郷のポーランドを離れて、ドイツに向かう途中ウィーンで着手されました。当時、ロシアからの独立運動の機運が高まり、芸術家で国の宝であるショパンが戦争で命を落としてはならないという周りからの所見もあり、西の方に逃げざるを得ない。ショパン自身としては国のために戦いたいという気持ちがあったろうとは思いますが、皆の気持ちを理解して逃げる途中のクリスマスの時期に、ショパンの大好きなポーランドのクリスマスキャロルが(多分)頭の中で聴こえてきた。これは東ヨーロッパでは非常にポピュラーなのですが、「眠れ幼子イエス」というキャロルです。スケルツォの最初と最後は激しいのですが、真ん中だけこのキャロルが静かに流れます。ショパンの気持ちが溢れるというか、この作品にぶつけるしかなかったそんな気持ちを表現できたなあと思います』。そして、この日一番激しく弾かれたスケルツォの初めと終わりの部分ではそのテクニックとダイナミックさに圧倒され、真ん中の部分の優しい響きには会場中が感動に充ち溢れました。鳴りやまない拍手に再度登場して次のように話されました。

『スカルラッチェとショパンの時間を皆さんと共有できて…。こういう作品があるということは本当に素晴らしいことだなと思います。ショパンの作品を長く弾いていると、20代の頃に弾いていたものと今弾くものは、全く感じ方が違って来るものだと思います。これからも一人の作曲家の作品を沢山取り上げて行きたいなと思います。小さい頃から好きな作曲家は誰ですかと聞かれますとスカルラッチェとハイドンと答えていました。スカルラッチェのカラッと明るいところがすごく好きです。現代の楽器は音が鳴りますし、スカルラッチェはチェンバロのために書かれたものです。ショパンが現代の楽器で弾いたらどのように弾くのかと想像したりします。やっぱり古典的なものが好きだなと思います。それでは(アンコールに)「別れのワルツ」を弾きます』。ワルツは、根津さん特有の美しい音で紡がれた極上のものでした。このリサイタルを生で聴かれた方は幸せだと思います。

一般社団法人 国際育英文化協会
代表理事 伊藤美保子

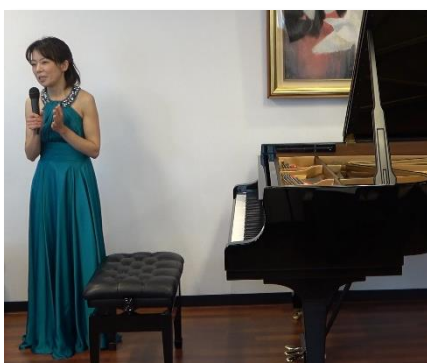
アンケート集計結果 ご協力ありがとうございました。

根津理恵子さんへ激励のメッセージをお願いします。

- ♪ オープンから春らしいスカルラッティのソナタで、小鳥の鳴き声を連想させるような、とても豊かな気持ちになりました。理恵子先生の繊細かつダイナミックもある素晴らしい音色にとっても癒されました。ショパンはどの曲も圧巻でスケルツォの「眠れ幼児イエス」の部分では涙が出ました。感動の一時をありがとうございました。
- ♪ スカルラッティのソナタはバッハの平均律クラヴィーア曲集にどこことなく共通する響きがあるなと感じました。「アリア」や「ト短調 K.30」など静かな中にも低音(左手)の響きがすばらしかったです。コラールにも通ずる神秘的な音でした。後半は根津さんお得意のショパン、すばらしかったです。ショパンの作品でも聴いたことがない曲を聴けてよかったです。最後の「スケルツォ1番ロ短調」、スピード感と中間部のやさしさに満ちた曲調、最後の力強い、ショパンの当時の心情が伝わってきました。いい午後の時を持てました。
- ♪ りえこ先生えんそうがすごかったです♡♡♡だいすきです。
- ♪ 大変すばらしいコンサートでした。益々のご活躍を応援致します。あれだけ沢山の名曲を聴けて、幸せな気分になりました！私も練習頑張ります！
- ♪ バスティン研究会、栄子先生にお世話になっております。先生のキラキラ音色とてもステキであこがれています。身体全体からメロディがあふれ、楽しそうに揺られ、ご自身の音色を楽しんでいらして、お忙しい中、工夫されて練習、見習わなくてはです。曲に込められた思いなど、解説していただければ、より一層聴き入ることができました。ステキな一時ありがとうございました。
- ♪ 特に中でもスケルツォが素晴らしかったです。理恵子先生は独自の解釈、テクニックにより、初めてきたかのような気持ちになりました。また、ぜひ他のスカルラッティやバラードもきいてみたいです。
- ♪ 音がすごくきれいで感動しました！！また、レッスンよろしくお願いします！！
- ♪ 本日は素晴らしい演奏をありがとうございました。美しい音色、表現力に心がゆさぶられました。また、演奏会に足をはこびたいと思います。本当にありがとうございました。
- ♪ ×××(個人名)の父でございます。リサイタルを拝見させていただき、演奏の素晴らしさに感動いたしました。素晴らしい演奏を息子にも聴かせることができました。ありがとうございました！！
- ♪ 素晴らしいリサイタルにお招きいただき、ありがとうございました。私はスカルラッティが好きなのでたくさんの曲を聴けて嬉しかったです。ショパンもちろん 素敵で、最後のスケルツォでは涙が出ました。解説もわかりやすく、より曲を楽しむことができました、本当にありがとうございました！また伺います！！



D. スカルラッティ:K. 491
小鳥の鳴き声が聞えてきました。



1 曲目の後でのお話
ショパンはスカルラッティが好きでした。



D. スカルラッティ:K. 9 ニ短調
牧歌的な 8 曲目



D. スカルラッティ:K. 39
華やかな 10 曲目



ショパン:「スイス少年による変奏曲 遺作
耳新しい曲でした。



ショパン:ノクターン 遺作
心に深く入り込む理恵子節

- ♪ 作曲家の想いを聞いて、曲目を聴くのは、とても良かったと思いました。生演奏はやはり良いですね。小柄なのに、すばらしい。力強い弾き方で感激しました。今日は、優雅な時間をありがとうございました。
- ♪ 子育てで大変なのに、いつもコンサートを開いていらして尊敬します。これからも素敵なピアノを聴かせてください！
- ♪ 素晴らしい演奏でした。ありがとうございました。
- ♪ 本当にすばらしいリサイタルでした。すてきな曲をたくさんきけて幸せでした！ありがとうございました。これからもリサイタルがあれば、ききにいきます♪
- ♪ 本日はすてきなりサイタルありがとうございました。理恵子先生の情熱、また繊細な音色…鳥肌が立ちました！！感動しました！！
- ♪ 毎回楽しみにきかせていただいています。素晴らしいコンサートでした。充実した時を一緒に過ごせて幸せでした。お話もよかったです。全曲よかったです。
- ♪ 5年振りに拝聴させて頂き、また再びショパンを聴けるのがうれしいです。どんどん演奏して下さい。応援します。実はピアノ再開して、毎日が楽しいです。
- ♪ ショパンをもっと聴きたい。
- ♪ 素敵な演奏をありがとうございました。とても感動しました。またの機会を楽しみにしています。
- ♪ 私の思い出の曲「スイス少年」を大好きな理恵子先生にひいて頂いて本当に嬉しかったです。とても幸せな時間をありがとうございました！！
- ♪ 久しぶりに理恵子さんの素敵な音色を近くで感じる事が出来て、とても幸せな時間でした。初めてこちらできいたときよりも、更に心にひびき、大変素晴らしかったです。ありがとうございました。最後のスケルツォ大変感動しました。
- ♪ いつも素晴らしい演奏をありがとうございます。ショパンはもちろん、スカルラッティもとても良かったです。
- ♪ すばらしい熱演で、演奏者の思いが十分伝わりました。ピアノも十分こたえてくれたと思います。また、演奏の合間の解説も曲の理解を深めるのに役立ちました。今後の発展を大いに期待しております。
- ♪ とてもさびやかで艶やかな演奏で癒されました。花粉症大変だと思いますが、頑張ってください。

根津理恵子さんの CD をご紹介します

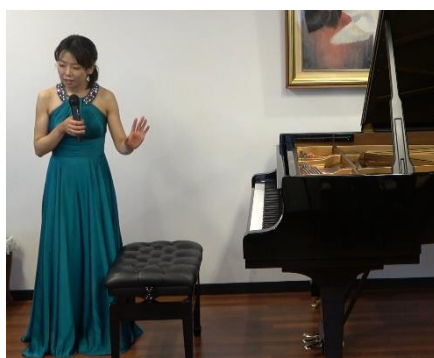
チェルニー30番 30 の小さな物語

一般的なテンポとゆっくりのヴァージョンを収録されています。

¥1,980 発売：東音企画



ショパン：ワルツ 64-3
耳馴れた曲が新鮮に聴こえます。



ショパンがポーランドを離れざるを得なかった心情がスケルツォ第1番に込められています。



ショパン：3つの新エチュード
めったに聴くことのできない曲でした。



ショパン：スケルツォ第1番
会場が聴き惚れていました。



ショパン：別れのワルツ
アンコールはやはりこの曲



感動的なりサイタルでした。
ありがとうございました。

第 81 回 モーツァルト・サロンコンサートシリーズ

矢島愛子ピアノリサイタル チケット発売中!

～天性の音楽性で人々を魅了するピアニスト～

2023 年 5 月 28 日 (日) 14:00 より 入場料: 3,000 円

モーツァルト: 自動オルガンのためのアンダンテ ヘ長調 K.616
 シューマン: 森の情景 Op.82
 フランク=コルトー: ヴァイオリン・ソナタ (ピアノ・ソロ版)

※下記公演は全て 14:00 開演です。

第 82 回 2023 年 7 月 9 日 (日) 北村明日人ピアノリサイタル	発売中!	入場料: 3,000 円
第 83 回 2023 年 8 月 27 日 (日) 上敷領藍子&富永愛子デュオリサイタル		入場料: 3,000 円
第 84 回 2023 年 10 月 15 日 (日) ゴウ芽里沙ピアノリサイタル		入場料: 3,000 円
第 85 回 2023 年 12 月 3 日 (日) 佐藤卓史ピアノリサイタル	※日にち予定	入場料: 3,000 円
第 86 回 2024 年 2 月 18 日 (日) 魚谷絵奈ピアノリサイタル		入場料: 3,000 円

チケットのご購入: お電話またはホームページよりご予約の上、「一般社団法人 国際育英文化協会」口座へ代金を先にお振込みください。ご入金確認後、チケットをお送りいたします。

ゆうちょ銀行 ①ゆうちょ銀行からのお振込み: 記号 10150 番号 70038231

②他の金融機関からのお振込み: 店番 018 普通預金 7003823

みずほ銀行 赤羽支店 普通預金 2093151

※ クレジットカード決済をご希望の方は Pass Market よりご購入いただけます。
 詳しくは同封のチラシをご覧ください。

♪ 『ピアノ三重奏による モーツァルト・サロンのクリスマス』 1,500 円 (税抜き)



当団が 2016 年に柿沼唯先生に委嘱した
 クリスマスの三重奏曲を是非 CD にというお声に応え、
 若手の錚々たる演奏家を得て
 華やかでクリスマスの喜びに満ちたアルバムにいたしました♪
 モーツァルト: ピアノ三重奏曲 ト長調 K.564
 チャイコフスキー=柿沼唯: 「くるみ割り人形」より花のワルツ
 (2016 年委嘱作品)
 柿沼 唯: クリスマス・メドレー
 (2016 年委嘱作品)
 演奏: 上敷領藍子 (Vl) 三井静 (Vc) 佐藤卓史 (Pf)



魚谷絵奈先生

モーツァルト・サロン ピアノ教室

指定の月・水・金曜日

現役のピアニストとしても活躍される魚谷絵奈先生と青木沙耶花先生による
 ワンランク上の個人レッスン。ピアノの先生のスキルアップにも最適です。

・月額制: 10,000 円～ (30 分～/ 年 40 回)

・1 レッスン制: 6,000 円 (60 分)



青木沙耶花先生

お問い合わせ: 一般社団法人 国際育英文化協会

〒115-0045 東京都北区赤羽1-54-5 メトロAIビル 5F

TEL: 03-5939-9535 FAX: 03-5939-9536

HP: <http://www.kokusai-ikuei.jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/mozartsalon>

モーツァルト・サロン赤羽で検索して下さい。

※この会報がご不要の方は、お電話またはホームページ「お問い合わせ」よりご連絡下さい。